

平成 29 年 8 月 17 日
産業経済局新産業振興課

(公財)北九州産業学術推進機構 (FAIS) と (公財)九州ヒューマンメディア創造センターの統合について

1 団体の概要

(公財)北九州産業学術推進機構 (FAIS) (平成 13 年 3 月 1 日設立)

産業技術の高度化や活力ある地域企業群の創出・育成に寄与することを目的として、産学官連携による研究開発支援や学術研究の推進等を行う。

(主に製造業に対する支援)

(公財)九州ヒューマンメディア創造センター (平成 8 年 4 月 10 日設立)

情報通信技術 (ICT) 産業の振興、新規産業の創出等に寄与することを目的として、事業化支援や ICT 人材育成等を行う。

(主に情報産業に対する支援)

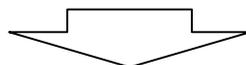
2 統合の必要性

(1) 市内産業の生産性向上の推進

生産年齢人口が減少傾向にあり、人手不足が深刻化するなかで、本市の産業競争力の維持・強化を図るため、IoT の活用等による生産性向上が重要な課題となっている。

(2) 行財政改革の要請

平成 26 年 2 月策定の「北九州市行財政改革大綱」において、両団体の統合の検討が盛り込まれ、簡素で効率的な体制の構築が必要となったこと。



【統合後の目指すところ】

- ものづくりなど産業・企業・大学シーズ等に精通した FAIS と、e-PORT2.0 など情報通信分野で優位性を持つ HMC との統合により、産業分野への IoT 導入促進等を図り、市内を中心とした産業 (生産) の高度化・効率化及び産業連携機能の強化を進める。
- 両団体の機能・組織の効率化を図り、費用対効果の高い政策を推進する。
- 両団体の強みを融合し、シナジー効果を発揮させることで、既存活動の強化や新たな分野への支援拡充を進める。

3 統合のメリット

(1) 事業実施体制の強化・効率化

- ①支援体制のワンストップ化
- ②組織・体制の見直し（管理部門等のスリム化）

(2) 新規重点事業の効果的实施

本市の重要課題である、生産年齢人口の減少に伴う生産性向上・人手不足の解消を図ることを目的として、以下の事業に取り組む。

①ロボット・IoT・AI を活用した生産性向上事業

現場でIoT導入等の中心となる指導者の育成や、実機を用いた安価なIoTシステムの構築指導等を行う支援事業を実施。（経産省補助事業採択済み）

中小企業や支援機関などを対象とした人材養成スクールの開催や、中小企業へのシステムインテグレーターの派遣などを実施する。

②地方版IoT推進ラボ

生産性向上に向けた個別IoTプロジェクトを発掘し支援するほか、社会実装に向けた規制改革・制度形成等の環境整備を行う。

(3) 事業見直し等による効果

- 情報ネットワークサービスの見直し等
- 理事長及び嘱託職員の人件費の減
- 現HMC事務室の民間貸出への転用

4 統合の時期

平成30年4月